

平成19年度事業計画

自 平成19年4月 1日
至 平成20年3月31日

I. 事業方針

1. 鑄造産業ビジョン2006アクションプランに基づき、今後10年かけて鑄造業界の製品力、資金力、人材力の画期的な向上を図り、提案型企業へ転換するために、平成19年度に協会として以下の課題を重点項目として取り組む。
 - ① 経営力の強化
 - ② 取引慣行の改善
 - ③ 技術の革新
 - ④ 鑄造人材の確保・育成（環境・安全を含む）
2. これらの重点項目に関する企画・立案は、総務部会、経営部会、技術部会、国際部会、中小企業部会の5部会が分担・連携して推進する。又、地方での具体的な展開は、支部・組合との連携のもとに推進する。

II. 経営部会事業計画

1. 経営力の強化（中小企業部会との連携）（新規事業）

- (1) 会員企業の自己診断と課題解決のためのビジョン作成支援
- (2) 課題解決するための経営コンサルタント人材OBの紹介・斡旋、派遣
- (3) 経営者の経営力向上のための講習会、見学会の開催
- (4) TQM、TPM、5S、JIT等の経営手法の普及と活用

2. 取引慣行の改善（中小企業部会との連携）（新規事業）

- (1) 取引ガイドラインの普及促進
 - ①ブロック毎に講習会を開催し学習と普及を図る。
- (2) 重量取引の見直し（原価モデル作成委員会）
 - ①正確な原価の把握のための原価計算モデルの作成と普及
 - ②適正な価格での販売のための見積モデルの作成と普及
- (3) 型保管費用の負担
 - ①型保管・廃却に関する費用の有償化普及のための会員企業による型保管契約の締結促進
 - ②「鑄物用貸与模型の取り扱いに関する覚書」を法的観点から見直しを行う。
- (4) 原材料、副資材等のコスト増の価格への反映（市場調査委員会）
 - ①原材料、副資材等の価格変動データの定期的な会員・ユーザーへの配布
 - ②市場動向・景況実態調査等の実施

3. 同業との経営的連携

- (1) 市場動向、経営状況等の情報を共有し、会員の連携による経営力の向上を図る。
 - ① 銑鉄鋳物経営者・営業者委員会の開催
 - ② バランスウェイト委員会の開催
 - ③ 工作機械鋳物委員会の開催
 - ④ 精密鋳造業務委員会の開催
 - ⑤ カタン委員会の開催 **(新規事業)**

Ⅲ. 技術部会事業計画

1. 技術の革新

- (1) ITの積極的な活用 **(新規事業)**
 - ① 鋳造の技術伝承及びノウハウ蓄積と伝承を兼ねたソフトの開発（技術データベース構築委員会）
 - ② 鋳物歩留り率の画期的な向上（球状黒鉛鋳鉄の歩留まり向上委員会）
 - ③ 鋳造業界のIT化促進のための公的資金の積極的な活用
- (2) 製品・製造技術の革新
 - ① 平成18年度戦略的基盤技術高度化支援事業として採択された次の3件の技術開発推進
 - a. 鋳鉄溶湯の不純物除去と無害化技術の開発
 - b. 精密鋳造品高度化に向けた造型技術の開発
 - c. 鋳物製造における劣悪作業の作業効率を向上させる革新的なパワーアシスト装置の開発
 - ② 19年度戦略的基盤技術高度化支援事業への応募 **(新規事業)**

2. 人材の確保・育成

- (1) 鋳造カレッジの中部・近畿での運営（鋳造カレッジ企画運営委員会）**(新規事業)**
 - ① 中部・近畿での運営
 - ② 平成20年度開催希望地区調査、開催地区と事業内容の決定、受講生の募集
- (2) 鋳造技術・技能の伝承に関する技術研修事業の推進（技術普及分科会）

3. 鋳造業の環境・安全の向上（労災ゼロ工場の実現）

- (1) リスクアセスメント研修の推進（環境・安全対策委員会）**(新規事業)**
- (2) 鋳造業のCO₂削減目標の検討（環境・安全対策委員会）**(新規事業)**
- (3) 労働災害種別発生件数調査（アンケート）、分析と安全改善事例の情報提供（環境・安全対策委員会）
- (3) ISO取得の推進（標準化委員会）
- (4) 安全衛生標語の募集と同賞被表彰者の選考推薦（環境・安全対策委員会）

4. 同業・異業との技術的連携

- (1) 専門委員会（技術交流会）の開催
 - ① 鋳型技術委員会の開催
 - ② キュポラ操業研究委員会の開催
 - ③ 精密鋳造技術委員会の開催（日本鋳造工学会との共同開催）

IV. 国際部会事業計画

1. 積極的な国際交流の推進

- (1) 鋳造関係の国際会議やセミナーへの参加、海外鋳造団体とのネットワーク構築、海外鋳造業の実態調査
 - ①ドイツ鋳造協会（DGV、VDG）との定期協議開催
 - ②精密鋳造に関する国際会議への参加
- (2) 海外視察調査団の派遣
 - ①GIFA2007を中心とした欧州鋳造産業調査団の派遣
- (3) 精密鋳造国際セミナーの開催
平成19年9月12（水）～14（金）の3日間、東京・学士会館において国内外から講師を招いた「2007／第5回JFS国際精密鋳造セミナー」を開催

V. 中小企業部会事業計画

1. 経営力の強化（再掲）

- (1) 経営部会との連携のもと、中小鋳物メーカーの経営力強化を推進
- (2) 青年部全国大会の開催

2. 取引慣行の改善（再掲）

- (1) 鋳物用原材料関係者との情報交換会の開催
- (2) 原材料動向説明会の開催

3. 鋳造業に係る施策・税制等の要望・陳情

- (1) 鋳物産業振興議員連盟との意見交換会の開催
- (2) 施策・税制等について関係機関への要望

4. 中小企業振興のための委員会の開催

- (1) 組合理事長会の開催
- (2) 組合事務局長会の開催
- (3) 若手後継者委員会の開催
- (4) 政策委員会

VI. 総務部会事業計画

1. 協会運営組織の強化

- (1) 協会会費基準の見直しを推進
- (2) 協会役員選考基準案の作成

2. 組織拡充強化

- (1) 未加入の企業の加入促進
- (2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入促進

3. 広報体制の強化

- (1) 月刊機関誌「鑄造ジャーナル」の発行（編集委員会）
- (2) メーリングリストを活用した迅速、確実な連絡網の構築の推進（新規事業）
- (3) 協会ホームページによるPR等情報発信強化と会員専用アクセス覧の設置（新規事業）
- (4) 普及啓蒙活動の推進
- (5) その他会員に役立つ情報提供

4. 大会及び講演会・講習会等の開催

- (1) 春季大会（千葉）の開催（日本鑄造工学会との共同開催）
- (2) 秋季（神戸地区予定）の開催
- (3) 新年賀詞交歓会の開催
- (4) その他講演会、各種の報告会を適宜開催

6. 協会賞表彰の実施

功労賞、技術賞、小林英三賞、滝沢賞、労働安全衛生標語賞を募集し、表彰する。

7. 関係団体との交流促進（異業との連携）

- (1) 関係業界団体との交流（自動車工業会・自動車部品工業会・機械業界団体等との懇談会）
- (2) 素形材関連団体連絡会・鑄団連への参加
- (3) (社)日本鑄造工学会との連携

8. 関係官庁への協力

- (1) 関係官庁の主催する委員会等の委員推薦等
- (2) 厚生労働省関係中央技能検定委員会の委員推薦等

9. 会員の叙勲及び国家褒章の受章候補者の推薦

10. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 御鑄物師会の隔年開催（平成19年度）
- (2) 受託・補助事業
鑄造関係で、政府、関係機関等が実施する事業の積極的な受託実施

VII. 会議に関する事項

1. 総会・理事会の開催

- (1) 通常総会を5月に開催する。
- (2) 理事会の開催
理事会を5回開催し、本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議・検討し決議する。
- (3) 正副会長会の開催
正副会長会を5回開催し、次の事項を検討する。
 - ① 総会及び理事会に付議する事項
 - ② 鑄造産業ビジョン2006アクションプランの推進・調整に関する事項
 - ③ 会員の叙勲及び国家褒章の受章候補者の推薦
 - ④ その他運営に重大な影響を及ぼす事項

(4) 監事会の開催

監事会を開催し、19年度決算等の監査を行う。

VIII. 中部支部

1. 研修会、講演会、工場見学会等の開催

2. 鑄造産業ビジョン2006アクションプランの実現を目指した支部事業の企画立案

3. その他必要な事業の実施